



# 波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター  
〒213-0033 川崎市高津区下作延 5-11-8  
Tel 044-877-0553 FAX 044-877-0980  
E-mail [suporto731a@luck.ocn.ne.jp](mailto:suporto731a@luck.ocn.ne.jp)  
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~snmi/>

## 平成24年度文部科学省委託研究報告会

平成24年度、文部科学省の委託研究「生徒指導・進路指導総合推進事業」の研究報告会を次の通り実施します。

**研究主題**：「不登校および問題行動等と発達上の課題への対応」

**副題**：～福祉と教育の融合に向けて～

**日時**：平成25年3月2日（土）1時30分～

**場所**：川崎市教育会館

平成17年度から6年間、文部科学省より研究の委託を受け、実践研究を続けてきました。不登校の子どもたちの学校復帰を目指した研究から、問題行動への対応へと研究の幅を広げ、今年度は横浜国立大学名誉教授、岡田 守弘先生の指導を受け、福祉と教育の融合にむけた取り組みを進めています。

当日は、多くの皆様方のご参会をお待ちしております。



2月6日（水）：第11回 カリキュラム委員会

## 第5回「ふれあい体験活動」

今年度最後となる第5回「ふれあい体験活動」を、川崎市青少年の家で、平成25年2月2日（土）に、日帰りで実施しました。

今回の参加者は、小学生13人・中学生2人の合計15人でしたが、開所式のあと5人ずつ3つのグループに分かれ、新聞の綴じ込み広告を利用したコースターづくりに挑戦しました。苦労しましたが素敵な作品ができあがり、お母さんへの素晴らしいおみやげができました。

グループごとに「お好み焼き」をつくり美味しくいただきました。大変楽しい一日でした。



# 第4回サポーター研修



今年度第4回めの「特別支援・教育活動サポーター研修」を平成25年2月14日(木)に教育会館で行いました。

全体会では築部理事より「サポーターのあり方」について講話があり、短い時間でしたが川崎市から麻生区まで各地区ごとに分かれ分科会を持ちました。

また、今回は新しい試みとして、分科会終了後、総合教育センター指導主事の指導により、30分間でできるケース会議を実際に行いました。

架空の事例を資料に3人~4人のグループに分かれ、ワークシートをつかい、話し合いのポイントや気になる行動と背景、うまくいっている取り組み、支援のアイデア等次々に話し合いが深まった研修でした。

実際に学校へ配置されたサポーターから、現場では大変なことが多かったがやりがいを感じた1年間であった。悪いことをしていつまでも謝らない子が「きょうはごめんなさい」ということができ、子どもの成長ぶりが分かり大変嬉しかった等、よい経験ができたという感想が多かったです。



# 第11回役員会

平成25年2月15日(金)に川崎市教育会館で、第11回役員会が行われました。2月23日(土)に行われる理事会に向けてその準備と、青少年の家・大山街道ふるさと館の次回の指定管理の受託にむけての取り組み等について話しあわれました。

サポートセンターの事業も年々充実し組織も大きくなり、この組織が安定して運営できるように、組織のあり方についても検討を深めることが必要だと思われます。



## 3月行事予定

日	曜	主な行事
1	金	安全点検日
2	土	文部科学省委託研究報告会
4	月	会計担当者会(宮ノ下事務所)
5	火	シニア卓球クラブ(青少年の家) 地域報告会(南野川)
6	水	カリキュラム委員会(宮ノ下事務所)
7	木	お茶・お花(旭町)
8	金	子育てサロン(南野川)
9	土	エコチャレンジクラブ(青少年の家)
10	日	第17回フェスタ(青少年の家) KYWC(青少年の家)
11	月	中原区保護者ミーティング
12	火	シニア卓球クラブ(青少年の家) 読み聞かせ(旭町) 第3回大山街道事業検討委員会 (生涯学習ピラザ)
13	水	探検クラブ発表会(大山街道)
15	金	青少年の家・大山街道ふるさと館経営委員会(教育会館) 役員会(教育会館)
19	火	シニア卓球クラブ(青少年の家) お話し会(青少年の家)
21	木	卒業と進級を祝う会(旭町)
22	金	いっしょにあそぼう(南野川)
24	日	エコチャレンジクラブ(青少年の家)
25	月	KYWC(青少年の家) 読み聞かせ(旭町)
26	火	シニア卓球クラブ(青少年の家)
27	水	学習・相談打合せ(宮ノ下事務所)
28	木	よちよち歩きの子集まれ(青少年の家)
29	金	事務局会(宮ノ下事務所)

### 編集後記

この2月は立春を過ぎたとはいえ、雪が降ったり大変寒い日が続きました。

サポートセンターでも、3月に実施する文部科学省委託研究報告会の資料づくりに追われ、大変忙しい思いをしました。当日の成功を祈る毎日を送っています。